

# 会議概要

会議名 : 平成28年度第1回益田市入札・契約適正化委員会

日時 : 平成28年5月23日(月) 13:15～

場所 : 市役所本館 3階 第1会議室

委員 : 林 秀司 (大学教授)、丸亀日出和 (弁護士)  
大野利昭 (税理士)、前田邦男 (学識経験者)

出席者 : 委員4名、事務局2名

## 議 事

(1) 平成27年度 入札結果状況について

### 入札結果の比較

#### 平成26年度 入札結果

##### 入札件数 工事関係

総合評価	15 件
一般競争入札	0 件
簡易型一般競争入札	75 件
指名競争入札	143 件
小計	233 件

#### 平成27年度 入札結果

##### 入札件数 工事関係

総合評価	6 件
一般競争入札	1 件
簡易型一般競争入札	70 件
指名競争入札	149 件
小計	226 件

##### 入札件数 物品関係

総合評価	5 件
一般競争入札	0 件
簡易型一般競争入札	12 件
指名競争入札	87 件
小計	104 件

##### 入札件数 物品関係

総合評価	0 件
一般競争入札	19 件
簡易型一般競争入札	8 件
指名競争入札	110 件
小計	137 件

入札件数 合計	337 件
---------	-------

入札件数 合計	363 件
---------	-------

##### 予定価格・落札金額 工事関係

予定価格	4,589,477,300 円
落札金額	4,387,674,600 円
総落札率	95.60%

##### 予定価格・落札金額 工事関係

予定価格	2,543,766,000 円
落札金額	2,439,777,000 円
総落札率	95.91%

予定価格・落札金額 物品関係

予定価格	301,987,487 円
落札金額	258,901,282 円
総落札率	85.73%

予定価格・落札金額 物品関係

予定価格	623,932,806 円
落札金額	551,146,925 円
総落札率	88.33%

予定価格・落札金額 合計

予定価格	4,891,464,787 円
落札金額	4,646,575,882 円
総落札率	94.99%

予定価格・落札金額 合計

予定価格	3,167,698,806 円
落札金額	2,990,923,925 円
総落札率	94.42%

1 建設工事（建設工事関連業務委託を含む）における発注件数・発注金額について  
平成26年度は災害復旧工事、建築工事及び建築関連工事が、特段に多かったことにより、平成27年度の建設工事の発注件数並びに発注金額の減少の原因となっている。

また、物品・役務の提供の発注件数・発注金額等については、平成28年4月開設の高津学校給食センターにおける食器・食管の配送・回収業務委託及び大型・中型厨房機器等、多くの備品調達による発注金額の増加があり、落札率も上昇している。

2 高落札率について

全体の落札率は年度比で多少低くなっているが、平成26年度は建築工事及び建築関連工事で軒並み高落札が続き、異常に高い数字になっていた。平成27年度当初に最低制限価格及び調査基準価格を見直した結果、今年度も落札率が95%を超える、高落札率である。

平成26年度 低入札調査等

最低制限失格	11	件
	15	者

低入札	2	件
	2	者

数値的判断基準失格	1	件
	1	者

低入札調査失格	1	件
	1	者

低入札での契約	0	者
---------	---	---

平成27年度 低入札調査等

最低制限失格	28	件
	68	者

低入札	6	件
	18	者

数値的判断基準失格	1	件
	8	者

低入札調査失格	4	件
	8	者

低入札での契約	2	者
---------	---	---

### 3 最低制限価格失格及び低入札の増加について

最低制限価格及び調査基準価格については、見直しにより、工種ごとのばらつきもあるが、試算で設計金額の90%から93%程度の間を設定されている。平成27年度は本市及び近隣の災害工事も終了したことにより、入札参加業者（特に業者数が多い、中間ランクの土木業者）が最低制限価格を目標にして応札した結果、見積りを誤って最低制限価格を下回り、失格になるケースが多く見られた。

低入札は業務委託のみで発生しており、失格は4件、8者であった。2者については数値的判断基準に適合し、低入札調査の後、契約をしている。（前年は低入札による契約は1者もなかった。）

### 4 入札の不調・不落について

前年度に引き続き、入札の不調・不落の案件が多いことについて、考えられる理由としては、建設工事等で業者側からは、条件の良い工事の選択により難易度の高い工事等を敬遠するなどが入札の不調につながり、また、下請業者の不足・人不足、資材の高騰等により見積り金額が高くなっていることが不落の原因になっていると考えられる。

【委員】入札が不調・不落であった場合にはその後、どのようにしているのか。

【事務局】益田市は入札を一旦、取止めて、担当課に入札案件を戻すことにしている。

担当課においては入札状況や工期などを考慮した上で、今後の方針（再入札又は随意契約）について判断することになっている。

【委員】何を検討するのか。

【事務局】金額や、工事内容を変更し、入札方法等も変更する。

#### （2）抽出案件の審議（平成27年度下半期10月～3月分）

##### 建設工事：総合評価方式一般競争入札（2件）

###### ①桂平小学校屋内運動場耐震補強・大規模改造工事（建築主体）

【委員】この工事は特別簡易型総合評価方式で入札が行われており、設計金額の割には入札参加業者が少ないこと、また、落札率が非常に高いので抽出した。

【事務局】本工事は桂平小学校の屋内運動場について、耐震性能を満たす施設にする工事で、鉄骨ブレース補強、柱頭パネルゾーンの補強を施工する工事である。

また、建築後50年が経過しており、屋根及び内外装も施工する工事であり、高度な技術を要さず、工事における工夫の余地がないため「特別簡易型総合評価」での入札とした。

競争参加資格として、益田市内に主たる営業所若しくは準市内の認定を有する者で、建築一式工事の総合点数が700点以上の者とした。

施工実績については、1契約4,000万円以上の建築一式工事を施工した実績を求め、配置技術者は1級若しくは2級建築士、1級若しくは2級建築施

工管理技士又は国土交通大臣認定者を専任で配置できることとした。

#### 入札状況について

本件入札には、調査基準価格（73,058,000円）が設定されており、特別簡易型総合評価一般競争入札を行い、3者の申請があり、3者の競争参加資格が確認された。開札したところ、応札した1者は予定価格超過であり、1者は調査基準価格を下回ったため、数値的判断基準の実施において失格となったので、1者のみが予定価格以内、調査基準価格以上であったので、総合評価を実施し、益田市競争参加資格審査会で宮田建設工業(株)益田営業所を落札者とした。

落札率99.97%

【委員】総合評価だが、参加者が少ないので価格だけの判断となっている。

【委員】結果として、点数的には高いところが落札者となっている。

【事務局】参加者が少なく、効果が出ていないところではあるが、今年度に行った市道都茂市金線災害防除工事での総合評価方式では、5者の参加があり有効な効果が出たと思われる。

#### ②からおと苑移転事業建設（建築）工事

【委員】入札参加業者が1者で、かつ、落札率が高かったので抽出した。

【事務局】本工事は、地域材を利用した在来木造建築と鉄骨造りを併設する建物で、木工事及び鉄骨工事の品質確保が重要な要素であることから「施工上の品質確保」また、工事区域の西側に国道9号が近接し、付近にはJR駅や学校施設があり、地域の中心部であることから「工事期間中の安全確保対策」、現場周囲への騒音・振動・粉塵対策として「工事期間中の環境保全対策」、これら3点の「施工上の留意点」を評価項目として、優れた提案を受け安全で高品質の施設を供給することとして「簡易型総合評価方式」とした。

競争参加資格として、益田市内に主たる営業所若しくは準市内の認定を有する者で、建築一式工事の総合点数が850点以上の者とした。

施工実績については1契約5,000万円以上の建築一式工事を施工した実績を求め、配置技術者は1級建築士、1級建築施工管理技士又は国土交通大臣認定者を専任で配置できることとした。

#### 入札状況について

本件入札には、調査基準価格（163,526,000円）が設定されている。簡易型総合評価一般競争入札を行い、2者の申請があり、2者の競争参加資格が確認された。開札したところ、応札した1者は予定価格超過であり、1者のみが予定価格以内、調査基準価格以上であったので、総合評価を実施し、益田市競争参加資格審査会で徳栄建設(株)を落札者とした。

落札率99.61%

【委員】落札率が非常に高い。

【事務局】業者の積算力が向上している。

【委員】1者のみなので、評価値が機能していない。

#### 建設工事：指名競争入札（1件）

##### ③市道内田安富線安富橋橋梁補修工事

【委員】入札参加業者が1者で、かつ、落札率が高かったので抽出した。

【委員】高額なのに参加者が少なかったので抽出した。

【事務局】この工事は、老朽化した橋梁を補修し橋梁の延命化を行う工事であり、鋼橋梁補修工、工場製作工一式、主索等取替工一式、架設工 3.7 t、旧橋梁撤去処理工 9.2 t、橋足場工一式、仮橋・仮栈橋工 89.2 t、仮主塔設置工 6.9 tを行う工事である。

当初、一級河川上の橋であり、非出水期の限られた期間内での工事や、不安定な足場での作業となるため、作業員の安全対策、資材等の搬入出に地区内の生活道を通行するため、住民や一般通行者への配慮、防錆等による水質汚濁や、粉塵、騒音等の配慮も必要となるため、総合評価方式により行うこととした。

1回目の入札では2者の参加があったが、1者は予定価格超過、1者は調査基準価格を下回っており失格となった。2回目の入札では予定価格を超過していた1者も辞退したため入札を中止とし、設計の見直し（舗装工の除外）を行った後、指名競争入札とした。

競争参加資格として、市内に営業所を有する者で、土木一式工事の総合点数が900点以上の者の中から、本件工事の主任技術者となれる者を雇用する6者を選定した。

#### 入札状況について

指名競争入札では、調査基準価格（110,706,000円）を設定し、1者の応札があり、予定価格以内、最低制限価格以上であったので、益田市競争参加資格審査会において、高橋建設(株)を落札者とした。

**落札率99.00%**

【事務局】平成26年度から行っている工事であり、以前も高橋建設が行っている。

また、特殊な工事でもあり、非出水期の冬場の工期となる。

#### 建設コンサルタント：(簡易型)一般競争入札（2件）

##### ④公共下水道あけぼの西町工区污水管渠詳細設計業務委託

【委員】14者の参加で13者が低入札なので、何か問題があったのか気になった。

【事務局】この業務は管渠実施設計（開削工法により詳細設計2,560m及び推進工法により詳細設計70m）を行うものである。

競争参加資格として、営業所所在地は益田市測量業務等有資格者名簿に登録され、浜田市以西に営業所を有する者とし、建設コンサルタント（下水道部門）

の登録を有する者とした。

業務実績は過去10年間に1契約1,000万円以上の下水道管渠（污水）の実施設計業務受注実績があることを求め、管理技術者及び照査技術者として、技術士（上下水道部門「下水道」）又は下水道法第22条第1項に規定する有資格者を各々、配置することを求めた。

#### 入札状況について

本件入札には調査基準価格（16,138,000円）が設定されている。

益田市建設工事等簡易型一般競争入札実施要綱第3条第1項による簡易型一般競争入札を実施したところ、14者の申請、応札があった。

開札したところ、13者が調査基準価格を下回る低入札であったので、数値的判断基準を実施し、その結果、5者が数値的判断基準に適合し、低入札調査資料の提出を求めたが、提出を辞退したので、失格となった。

よって、予定価格以内、調査基準価格以上であった(株)エイテックを益田市競争参加資格審査会で落札者とした。 **落札率82.48%**

【事務局】13者が低入札であった理由としては、「下水道用設計標準歩掛表」にある補正の計算方法で、すべての値に補正係数を乗じるところを、勘違いし全てに乘じていなかったため低い価格となった。

業者より、開示請求等もあったが問題なかった。

【委員】5番以降が同額となっている理由はなにか。

【事務局】内訳は違っていたので、そこまでは分からない。

【委員】数値的判断基準とは何か。

【事務局】内訳書の各項目が何パーセント以上でないといけない基準が決めてある。

#### ⑤安田小学校屋内運動場改築工事実施設計業務

【委員】調査基準価格との金額差が少なかったので抽出した。

【事務局】この業務は、既存屋内運動場施設の耐震性が無いことから、当施設を解体し、跡地に改築整備するものである。

狭隘な敷地内に計画することから、安全対策を最優先とし、良い教育環境空間（通風、換気、自然採光、照明、音響）を確保する。

また、駐車場確保のため、隣家側に擁壁築造による進入路を整備し校舎裏の浄化槽埋設地を駐車場とするものである。

入札参加資格として、建築士法第23条1項に規定する一級建築士の登録を有する者。

益田市測量業務等有資格者名簿に登録され、益田市内に主たる営業所を有する者。

業務実績は、過去10年間に島根県又は益田市発注の公共工事の建築設計業務の実績があること。管理技術者として一級建築士の1名以上の配置を求める。

### 入札状況について

本件入札には調査基準価格（7,524,000円）が設定されている。

簡易型一般競争入札を実施したところ、4者の申請、応札があった。

開札したところ、全者が予定価格以内、最低制限価格以上であったので、最低応札者の(有)大石建築事務所を益田市競争参加資格審査会において落札者とした。  
**落札率76.68%**

【委員】内容や予定価格をよく理解して積算していると思われる。

【委員】落札率は、予定価格との対比だが、調査基準価格との対比だと精度が高いのが良く分かる。

### 物品調達：一般競争入札（1件）

#### ⑥益田市学校給食用食器・食器箆 仕分け（1）

【委員】物品から、金額の高いのを抽出した。

【事務局】この業務は、本年4月から運行する学校給食で使用する食器類の調達である。

予定価格が19,863,000円と高額なことから、調達する物品が食器であることから、価格だけによる一般競争入札とした。

商品指定（同等品可）で深皿3種類、ボール2種類を、それぞれ4,600枚。商品指定のない食器箆314個、選択食器用食器箆200個。

入札参加資格は、市内に本店、本社又は支店・営業所を有する者で、益田市物品の売買等入札参加資格名簿に登録の大分類「産業・工作機器類」小分類「厨房機器」又は、大分類「雑類」小分類「荒物・金物・雑品」に届出のある者とした。

### 入札状況について

本入札には最低制限価格は設定されていない。

想定参加業者10者の内、3者の応札があった。開札の結果、全者が予定価格以内であったので、最低応札者のホクサン厨機(株)益田営業所を落札者とした。

**落札率91.38%**

【委員】仕分け（その1）とあるのは、こういった分け方か。

【事務局】なるべく小分けして、広く業者が対応できるようにした。

【委員】最低制限価格は、金額の高さで設定するのか。

【事務局】人件費等がある場合には設定するが、通常物品には設定しない。

### 物品調達：指名競争入札（2件）

#### ⑦益田市庁舎本館・分館カーテン、ブラインド購入

【委員】この案件は、落札率が低かったので、予定価格の適切性及び工事・物品の品質確保チェックの面で抽出した。

【事務局】この業務は、平成26年度に行った本庁舎及び分館の耐震化工事に伴い、平成26年度に設置できなかった箇所のカーテン、ブラインドの取替を行ったものである。

本館1, 2階のカーテンレール及びカーテン、分館ブラインド。

入札参加資格は、市内に主たる営業所を有する者で、益田市物品の売買等入札参加資格名簿に登録の大分類「家具・調度品」小分類「装飾」に届出のある者とした。

#### 入札状況について

本入札には最低制限価格は設定されていない。

指名業者6者の内、4者の応札があった。開札の結果、全者が予定価格以内であったので、最低応札者の(有)中装を落札者とした。

**落札率55.05%**

【事務局】なお、落札率が低い原因としては、予定価格は建築工事による積算であり、入札金額は原価価格での入札であることから低い率となったと考えられる。

【委員】工事と物品のどちらでもできるのか。

【事務局】平成26年は工事の中で対応し、今回はカーテン等の取付のみなので物品で対応した。

### ⑧益田市民学習センター非常用蓄電池および自家発電設備修繕

【委員】この案件も落札率が低かったので抽出した。

【事務局】この業務は、益田市民学習センターの非常用蓄電池および発電機設備用蓄電池の老朽化による取替工事である。

非常用蓄電池18個、自家発電設備始動用蓄電池12個。

入札参加資格は、市内に主たる営業所を有する者で、益田市物品の売買等入札参加資格名簿に登録の大分類「保守・管理」小分類「電気設備保守」又は、大分類「産業・工作機器類」小分類「産業機器」に届出のある者とした。

#### 入札状況について

本入札には最低制限価格は設定されていない。

指名業者6者の内、3者の応札があった。開札の結果、全者が予定価格以内であったので、最低応札者の(株)斎藤電機を落札者とした。

**落札率62.21%**

【事務局】なお、落札率が低い原因としては、当初の仕様書には既設蓄電池の撤去・運搬・廃棄)を含むこととしていたが、参加業者からの問い合わせで、処分には産業廃棄物の許可が必要となることから、取替のみの依頼とした。

本来なら、仕様が変更となるため、入札を中止することとなるが、緊急を要する内容であることから、仕様書の変更のみとして入札を続行したため、予定価格の変更が行われなかったことにより低い結果となっている。



【委員】理由が分かれば納得した。廃棄はどうしたのか。

【事務局】廃棄処分については、別途資格のある業者へ依頼している。

【事務局】全体を通して意見等は無いか。

【委員】No. 1、2の総合評価のやり方には、基準があるのか。

【事務局】毎年、手引きを作成し、それに沿って行っている。

以上